

小児感染症の第13週(平成24年3月26日から平成24年4月1日)の集計結果

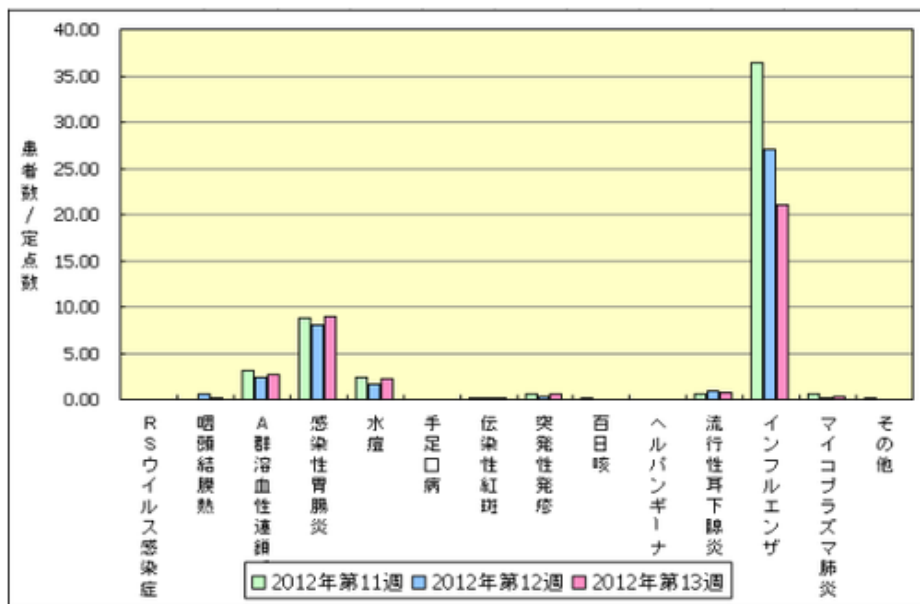
コメント

【今週の傾向】

○インフルエンザの報告は定点あたり21.1と減少しましたが、依然警報レベルが続いています。(A型39名、B型252名、臨床診断4名)

※ インフルエンザの警報レベルの終息基準値は定点あたり10となっています。

(厚生労働科学研究「効果的な感染症サーベイランスの評価ならびに改良に関する研究」より)



第13週疾患毎発生状況グラフ

	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年				
	第8週	第9週	第10週	第11週	第12週	第13週	中央北 部	西部	東南部	みなみ 野
RSウイルス感染症	1↓	1→	4↑	1↓	0↓	1↑	0	0	0	1
咽頭結膜熱	5↑	3↓	9↑	1↓	8↑	2↓	0	1	1	0
A群溶血性連鎖球菌	39↓	52↑	58↑	43↓	34↓	38↑	11	14	5	8
感染性胃腸炎	107↓	129↑	117↓	123↑	112↓	126↑	60	26	20	20
水痘	26→	24↓	28↑	34↑	24↓	32↑	10	8	7	7
手足口病	1↑	0↓	1↑	1→	1→	0↓	0	0	0	0
伝染性紅斑	6↑	2↓	2→	3↑	3→	3→	0	0	2	1
突発性発疹	12↑	6↓	8↑	9↑	5↓	9↑	3	3	0	3
百日咳	1↓	2↑	2→	2→	1↓	1→	0	0	1	0
ヘルパンギーナ	1↑	0↓	1↑	0↓	0→	0→	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	7↓	5↓	11↑	9↓	13↑	10↓	1	2	7	0
インフルエンザ	619↓	637↑	599↓	509↓	379↓	295↓	83	90	70	52
マイコプラズマ肺炎	4↓	7↑	3↓	9↑	3↓	4↑	3	0	0	1
その他	1↓	3↑	5↑	3↓	1↓	1→	0	0	0	1

第13週疾患毎発生状況表

第13週	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	インフルエ ンザ	マイコプラ ズマ肺炎	その他
～5ヶ月	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
～11ヶ月	1	0	0	20	1	0	0	4	0	0	0	6	0	0
1歳	0	1	0	27	5	0	0	5	0	0	0	16	1	0
2歳	0	0	3	15	7	0	0	0	0	0	0	13	0	0
3歳	0	0	0	11	6	0	0	0	0	0	0	19	0	0
4歳	0	0	8	11	3	0	0	0	0	0	1	24	0	0
5歳	0	0	13	11	4	0	0	0	0	0	1	37	0	0
6歳	0	0	7	6	2	0	1	0	0	0	1	35	0	0
7歳	0	1	1	3	2	0	0	0	0	0	5	22	0	0
8歳	0	0	2	2	0	0	1	0	1	0	0	24	2	0
9歳	0	0	0	7	0	0	1	0	0	0	1	17	0	0
10～14歳	0	0	3	9	2	0	0	0	0	0	0	53	1	0
10～12歳												43		
13～14歳												10		
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0
20歳以上	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1	20	0	0
合計	1	2	38	126	32	0	3	9	1	0	10	295	4	0

第13週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- みなみ野
由井事務所